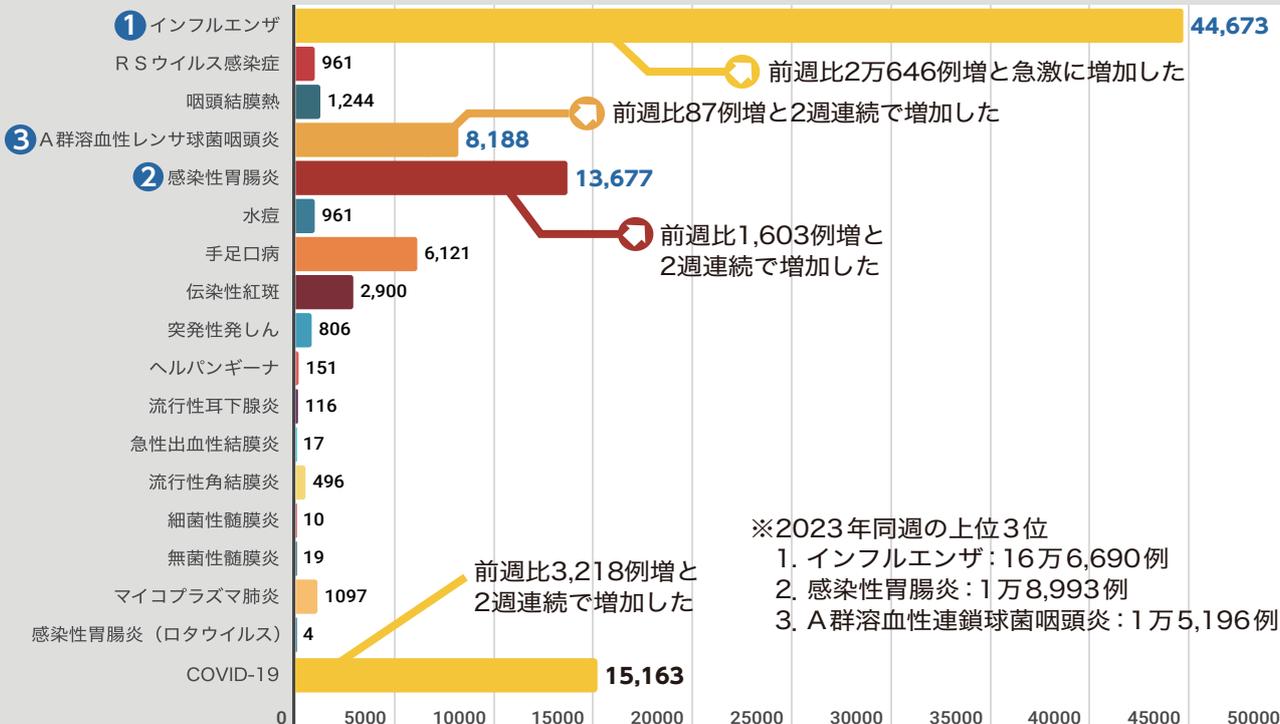




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

# インフル4万例超え、伝染性紅斑が流行

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2023年同週の上位3位  
 1. インフルエンザ：16万6,690例  
 2. 感染性胃腸炎：1万8,993例  
 3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎：1万5,196例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

## ①インフルエンザ

報告数

- 福岡県：4,019例
- 神奈川県：3,575例
- 東京都：3,425例

定点当たりの報告数(9.03)

- |              |              |               |               |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 福岡県：20.30 | 4. 長野県：12.47 | 7. 佐賀県：12.11  | 10. 岐阜県：10.54 |
| 2. 大分県：13.41 | 5. 鳥取県：12.14 | 8. 鹿児島県：11.74 | 11. 三重県：10.35 |
| 3. 千葉県：13.23 | 6. 広島県：12.11 | 9. 愛媛県：11.42  | 12. 愛知県：10.25 |

## ②感染性胃腸炎

報告数

- 東京都：1,372例
- 大阪府：1,012例
- 神奈川県：972例

定点当たりの報告数(4.35)

- |             |             |             |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 大分県：9.86 | 4. 石川県：7.34 | 7. 福岡県：6.02 | 10. 熊本県：5.59 |
| 2. 宮崎県：8.06 | 5. 富山県：6.59 | 8. 兵庫県：5.91 | 11. 東京都：5.20 |
| 3. 福井県：7.92 | 6. 鳥取県：6.58 | 9. 群馬県：5.74 | 12. 大阪府：5.16 |

## ③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 東京都：759例
- 北海道：699例
- 福岡県：594例

定点当たりの報告数(2.61)

- |             |             |             |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 北海道：5.10 | 4. 茨城県：4.49 | 7. 富山県：4.03 | 10. 長崎県：3.61 |
| 2. 福岡県：4.95 | 5. 新潟県：4.33 | 8. 山口県：3.88 | 11. 大分県：3.50 |
| 3. 宮崎県：4.94 | 6. 高知県：4.32 | 9. 佐賀県：3.77 | 12. 熊本県：3.47 |

## 今週の感染症動向

インフルエンザは前週から2万例以上増加し、4万例を突破。全国的に急増し、定点当たり報告数は13府県で注意報レベル(10.00)を超えている。感染性胃腸炎は前週から1,603例増加、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は87例増加し、いずれも2週連続で増加した。COVID-19も2週連続で増加し、1万5,000例を超えた。手足口病は2,496例減少し、定点当たり報告数が警報レベル(5.00)を超えている都道府県は鹿児島県(5.73)のみとなった。マイコプラズマ肺炎は全国的に例年と比べてかなり多い状況が続き、定点当たり報告数は福井県(6.17)、青森県(4.17)、茨城県(3.77)、奈良県(3.67)、石川県(3.60)の順に多かった。伝染性紅斑は94例増加し、定点当たり報告数は埼玉県(3.38)、東京都(3.00)、青森県(2.43)、千葉県(2.23)、神奈川県(2.23)で警報レベル(2.00)を超えている。インフルエンザが急増した他、多くの感染症が増加しており、注意が必要である。